

公演日時・会場・定員・受付期間

番号	公演日時	会場名	定員(名)	受付期間
①	9/21(土) 14:00~	ドナルド・キーン・センター柏崎 3階多目的ホール 柏崎市諏訪町 10-17	50	8/1(木) -9/6(金)
②	9/22(日) 14:00~	佐渡汽船直江津港ターミナルビル 2階多目的ホール 上越市港町 1-9-1	150	
③	10/ 6(日) 11:00~	新潟ふるさと村アピール館 3階ふるさとシアター 新潟市西区山田 2307	100	
④	10/ 6(日) 14:00~	新潟ふるさと村アピール館 3階ふるさとシアター 新潟市西区山田 2307	100	
⑤	10/20(日) 14:00~	新潟県立歴史博物館 講堂 長岡市関原町 1丁目字権現堂 2247番 2	150	9/2(月) -10/4(金)
⑥	11/ 3(日) 14:00~	あいぼーと佐渡 多目的ホール 佐渡市両津夷 384-11	200	10/1(火) -11/1(金)
⑦	11/16(土) 14:00~	新発田市地域交流センター きやり館3階大ホール 新発田市中央町 3丁目 13-3	150	
⑧	11/17(日) 14:00~	村上市教育情報センター 視聴覚ホール 村上市田端町 4-25	200	
⑨	11/30(土) 14:00~	ドナルド・キーン・センター柏崎 3階多目的ホール 柏崎市諏訪町 10-17	50	

お申し込み方法のご案内 (入場無料・事前申込)

全席自由

■お申し込み方法

「電話」「ファックス」「メール」「はがき」または「ブルボン本社受付」での事前申込となります。

「山椒太夫国文祭公演観覧希望」として、上記表の番号、お名前、ご住所、電話番号、観覧人数など右の ■お申し込みにあたって をご確認の上お申し込み下さい。

■お申し込み先

山椒太夫国文祭公演観覧受付センター
(有)アーテック アークプリント内
受付時間/土日祝祭日・8/13-15を除く平日10:00~17:00

- 電話 0257-23-1503
- ファックス 0257-23-1531
- メール info@kaz-net.co.jp
- はがき 〒945-1341 柏崎市茨目1813-4 (有)アーテック内 山椒太夫国文祭公演観覧受付センター 宛

■ブルボン本社受付

柏崎駅前本社ビル1階受付でもお申し込みできます。
受付時間/土日祝祭日・8/13-15を除く平日10:00~17:00

■お申し込みにあたって

- 会場毎に受付期間が異なりますので、ご注意ください。上記表にてご確認下さい。
- お一人様2名までお申し込み可能です。
- 1枚(1回)の申し込みで、1公演のみとなりますので、ご了承下さい。
- 小学生以下の方には同伴者が必要です。
- 各公演とも、定員になり次第締め切らせて頂きます。
- 入場整理券(チケット)の発送をもって、ご連絡に代えさせて頂きます。
- 公演の1週間前までには、チケットを申し込み代表者の住所にお送りさせて頂きます。

※ご提供いただきました個人情報につきましては、山椒太夫国文祭公演に関するご案内のみに使用いたします

■お問い合わせ先

Tel.0257-23-8296

山椒太夫国文祭公演実行委員会事務局
(株式会社ブルボン 総務推進部 広報管理課 内)
受付時間/土日祝祭日・8/13-15を除く平日10:00~17:00

● 当公演情報掲載HP

<https://www.bourbon.co.jp/culture/>

詳しい公演内容や事前申し込みファックス用紙をプリントアウトできます。

ブルボン文化支援

検索



人形浄瑠璃 猿八座 国民文化祭参加公演

山椒太夫

県内七会場
九公演



入場無料/要事前申込

ご入場には入場整理券が必要です(会場毎に定員が異なります)

主催 山椒太夫国文祭公演実行委員会 共催 株式会社ブルボン

七会場九公演です





ひとり遣いの人形がココロを操る。

■ 出演 猿八座

人形遣い 西橋八郎兵衛 ほか
語り三味線 渡部八太夫

「東」の陸奥福島から安寿と厨子王の一行は都へ向かう道中、直江津で人買いに売られます。

「西」の丹後宮津から脱出した二人は佐渡で母と再会、守り本尊である地藏菩薩の験力によって盲目の母は開眼する著名な物語です。

まさに「国民文化祭・にいがた2019」のテーマ「文化の丁字路～西と東が出会う新潟～」そのものでしょう。佐渡に伝わった文弥人形を継承する「猿八座」が古浄瑠璃の原作を復元、県内各地で公演し、全国に発信します。



安寿恋ひしやホウやれホウ

厨子王見たやホウやれホウ

森鷗外の『山椒太夫』（1915年）の一節です。この小説によって今日では安寿と厨子王の物語はよく知られるようになりましたが、元々は江戸時代初期の古浄瑠璃『山椒太夫』が原作です。鷗外はいくつもある古浄瑠璃の一つの台本から小説に仕立て上げました。興味深いことに、佐渡には鷗外原本とは異なる台本が伝わり、その一部が文弥人形として上演されていました。

人形浄瑠璃と言えば、大阪の「文楽座」が代名詞になっていますが、全国各地に文楽座とは別に古浄瑠璃の人形座が残っています。とりわけ佐渡には、義太夫節以前の文弥節による古い人形浄瑠璃が伝わり貴重です。猿八座は、この佐渡の伝統芸を継承し、人形ひとり遣いによる古浄瑠璃を復活上演する希有な人形浄瑠璃の一座です。

『越後国 柏崎弘知法印御伝記』を故ドナルド・キーン博士のご縁で2008年に復活上演したことで、高い評価を得ました。その後、猿八座は佐渡の文弥節で使用していた台本を元に、2012年から『山椒太夫』に取り組み、「鳴子引きの段」を初演、以来三段組を上演、さらに全六段も復活し、県内外で上演してきました。

主催 山椒太夫国文祭公演実行委員会

共催 株式会社 **ブルボン**

協力 公益財団法人ブルボン吉田記念財団 ドナルド・キーン・センター柏崎

後援 新潟県立歴史博物館、柏崎市、柏崎市教育委員会、上越市、上越市教育委員会、新潟市新潟市教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、佐渡市、佐渡市教育委員会、新発田市新発田市教育委員会、村上市、村上市教育委員会

佐渡汽船株式会社、新潟日報社、TeNY テレビ新潟、UX 新潟テレビ21、BSN 新潟放送、N S T

物語の始まりは福島県の信夫の里、安寿・厨子王の父である岩木判官が陥れられ九州太宰府に流されてしまい、母御台とともに親子で都へ向かいます。おそらく阿賀野川を下って新潟に出て、直井の浦（直江津）に至ったところで人買いにさらわれます。

佐渡の台本では、親子三人に同行する乳母「姥竹」の四人に加えて、「小八」という姥竹の息子が登場して活躍します。一行は直井の浦で山角太夫ら人買いに遭い、姉弟は丹後へ、母御台は佐渡へさらわれました。鷗外の小説とは異なり、厨子王を逃がした安寿は、責められているところを、この小八によって救出され、ともに佐渡へ母を尋ねますが、佐渡を舞台に思わぬ結末が待っています。

この度、「国民文化祭・にいがた2019」にあたり、創業95周年を迎える株式会社ブルボン（本社柏崎市）の共催を得て、県内各地七会場で九公演を実施できることになりました。全段の上演は4時間に及びますので、越後・佐渡の場面を中心に約2時間の舞台としてお楽しみ頂けるようにしました。何とぞ多くの方からご応募頂き、ご来場下さいますよう、ご案内申し上げます。

太夫の語りにも引き込まれ、

■ 人形浄瑠璃「山椒太夫」

国民文化祭版三段組



〔初段〕 信夫の里 直井の浦



〔二段目〕 姉弟山別れ 山椒太夫館



〔三段目〕 鳴子引き 母子対面

